



私たちは秒単位で列車を運行する！ 壁掛け時計の撤去は問題だ！

静岡運輸区庁舎内の乗務員詰所の壁掛け電気時計が2月6日、撤去されました。代わりの時計は設置しないということです。しかも、壁掛け電気時計の撤去は全社的にやるということです。

私たち鉄道労働者は、秒単位で列車を定時で運行しています。壁掛け時計の撤去は、時間で行動する職場の環境ではありません。多くの管理者は、これに反対したようです。また、JR東海ユニオン組合員からも不満が出ています。

組合員は、壁掛け時計を設置するよう首席助役に求めましたが、「設置しない」と回答しました。一方では、新たに管理者の方に向けた大きな時計を設置してあります。組合員は「その時計を詰め所の方に付けるべき」と訴えましたが、「あれは電波時計で庁舎内では電波を拾わない」として、移設はしない考えを示しました。

壁掛け時計の維持管理は経費がかかります。撤去することにより経費を削減しようということでしょう。維持管理をする部署（信通）の要員削減も考えられます。これは業務改革の一環ではないでしょうか。

いくら経費削減とはいえ、限度があります。直ちに壁掛け時計を元に戻すべきです。